

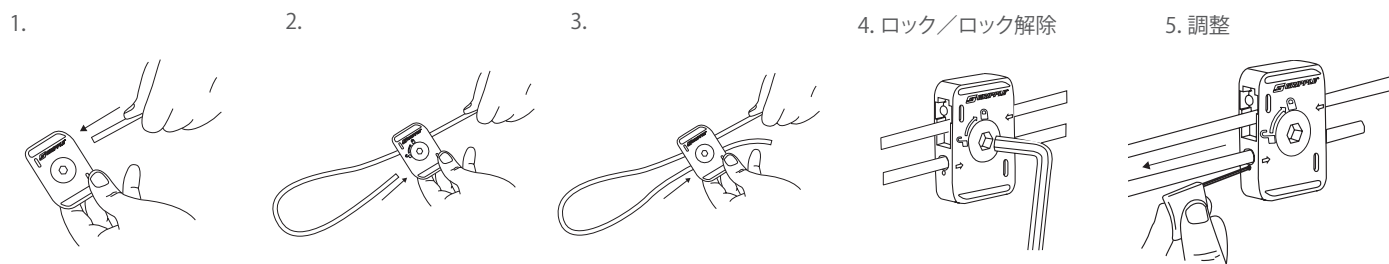
落下防止、転倒防止、一般振れ止め用に地震等の災害による振れや振動を想定して設計。

特徴／利点

- **施工性** - 従来の方法と比べ使用部材が少なく、最大で6倍速く取り付けが可能。
- **確実性** - 安全性を考慮し、一体型ロックを使用しワイヤを完全に固定することが可能。
- **高強度** - 地震等の災害の際の振れや振動を想定して設計。
- **シンプル** - 簡単にワイヤの長さを調節可能。
- **多機能** - 室内・室外問わず使用可能。
- **NETIS登録** - 新技術情報提供システム (NETIS) 登録
登録名称: 落下防止ワイヤシステム「ロッカブルプラス」
登録番号: KK-200052-A

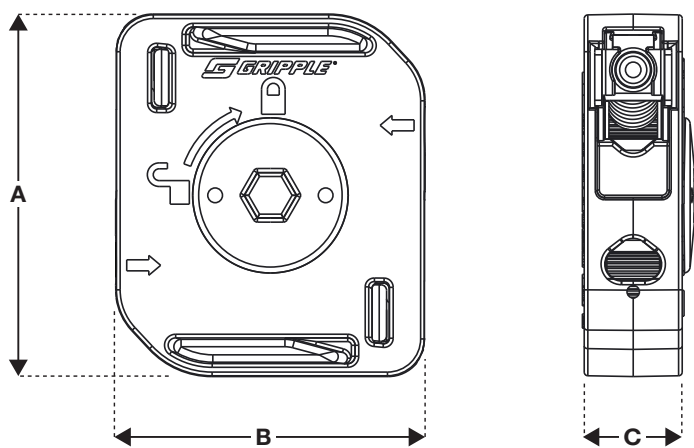


取付方法および調整方法



ワイヤの端末は、最低でも100mmはハンガーから出ていることを確認してください。

仕様



寸法	D2 (mm)	D3 (mm)	D4 (mm)	D6 (mm)
A	33	33	49	62
B	30.5	30.5	42	42
C	11.2	11.2	15	15

ご使用可能な端末金具



その他のご使用可能な端末金具につきましては、弊社までご連絡頂くか、www.gripple.comでご確認ください。

詳細情報

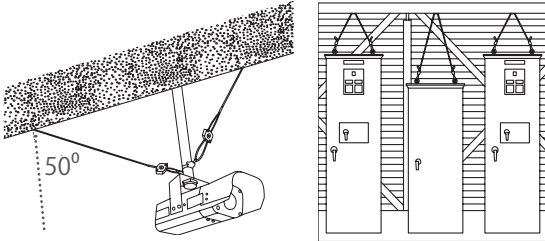
安全荷重:
2ページ目の裏面を参照してください。

ワイヤの呼び径:
D2 - 2 mm D4 - 4 mm
D3 - 3 mm D6 - 6 mm

材質:
ハウジング部分 - 亜鉛合金
ローラー部分 - セラミック
スプリング部分 - ステンレス
エンドキャップ部分 - UV安定化ホモポリマープロピレン

地震等の災害時の振れ・振動対策や重量物の吊り下げ、カテナリー工法を想定して設計。

落下防止・転倒防止



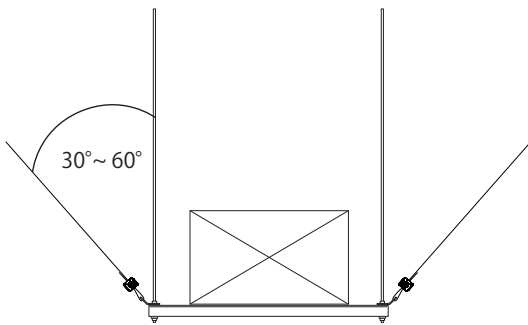
	D2	D3	D4	D6
安全荷重 (安全係数10)	22.5 kg	45 kg	75 kg	162.5 kg
設計荷重	225 kg	450 kg	750 kg	1,625 kg

注意

- 落下防止の目的でワイヤを施工する際は、対象物に対してワイヤが出来るだけ垂直になるよう施工ください。なお、角度を付けて取り付ける場合も、対象物に対して50度以内になるよう施工ください。
- 落下防止の目的でワイヤを施工する際は、確実に手でワイヤを引っ張りテンションを掛けて下さい。(ワイヤに弛みがある場合は、規定の性能が発揮されない可能性があります。)

一般振れ止め

*日本建築センター評定取得のB種耐震振れ止めワイヤ工法については専用資料をご確認ください。

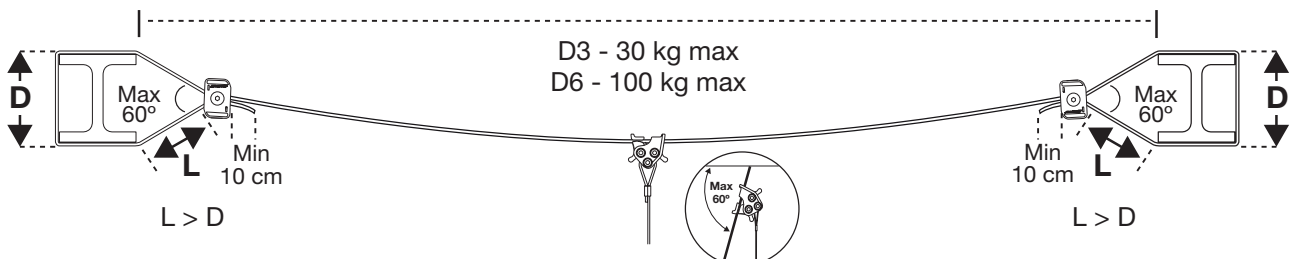


	D2	D3	D4	D6
最大荷重	1.77 kN	3.53 kN	5.14 kN	13.73 kN
設計荷重	225 kg	450 kg	750 kg	1,625 kg

一般振れ止めの目的でお使いの場合は30°~60°以内で施工ください。

カテナリー工法

フリースパン



	D3	D6
安全荷重 (垂直方向荷重、安全係数 5)	30 kg	100 kg